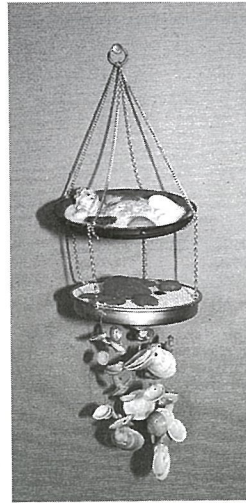


『小さい家』



4年2組  
実川 智子さん

※初めてのこぎりを使って木を切りました。こわかったけど、おもしろかったです。



『ふうりん』



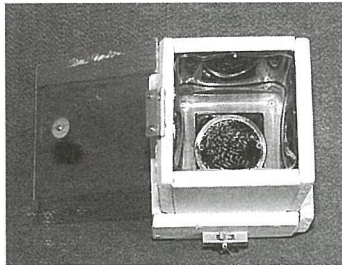
1年  
上田 亜依さん

※貝は海から拾ってきた。風が揺れると貝がらのきれいな音が聞こえてきます。

あつまれ みんなの 力作



6年2組  
伊藤 雅行くん



『洗濯機』

※モーターや電池ボックスを使い、中の味のりのパックの部分を取り入れました。

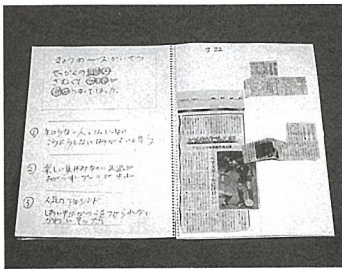


2年  
鈴木 幸夫くん



『ロボット貯金箱』

※紙粘土で大好きなロボットの貯金箱を作りました。たくさんお金がたまるといいな。

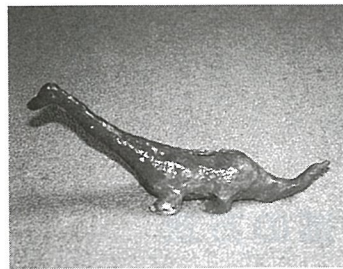


『ぼくのえらんだ今日の三大ニュース』



5年2組  
伊藤 和也くん

※新聞を毎日切り抜くことや感想を書くのが大変でした。



『きょうりゅうの貯金箱』



3年1組  
宮本 亜央衣さん

※首の中に割りばしを入れ、首が長くても下へ落ちないようにしました。

評者吟  
新涼や鉦が吐ける白き屑

短評 椎名しげる

土屋 義昭 (虫生)  
ワープロを止めて新涼広がる

根を詰めた仕事も一段落を告げた。満ち足りた疲労感の身に新涼が爽やかに広がる。

大谷 武彦 (木戸)  
新涼や窓という窓開放ち

秋の到来。湿度が高く蒸し暑い夏の日から解放された喜びの心情が素直に伝わる。

椎名 静子 (二又)  
新涼や子の初旅の機を仰ぐ

わが子の初の旅立ち、喜びの中にも一路平安を念ずる思ひで飛行機を仰ぎ見送る。

布施 和代 (二又)  
新涼の病廊翁の声透る

病室から流れる老翁の話し声が廊下に筒抜けである。本夜も間近いに違ひない。

秋山 一泉 (栢田)  
新涼や向ふ二階に灯がともる

秋の気配を見せる夕暮れ、人気のなかった向いの二階に灯が点った。新涼感一入。

